

過剰生育を抑制し有効茎を確保するため ほ場や生育に応じた適期中干しを実施しましょう！

1. 中干し・溝切りの効果

- (1) 過剰生育を抑制し、品質向上に役立ちます。
- (2) 倒伏軽減効果があり、品質向上に役立ちます。
- (3) 土壌への酸素供給により根を健全化します。
- (4) 秋のコンバイン収穫作業が可能な地耐力を確保できます。
- (5) 溝切りによりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能となります。
- (6) 溝切りにより秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能となります。



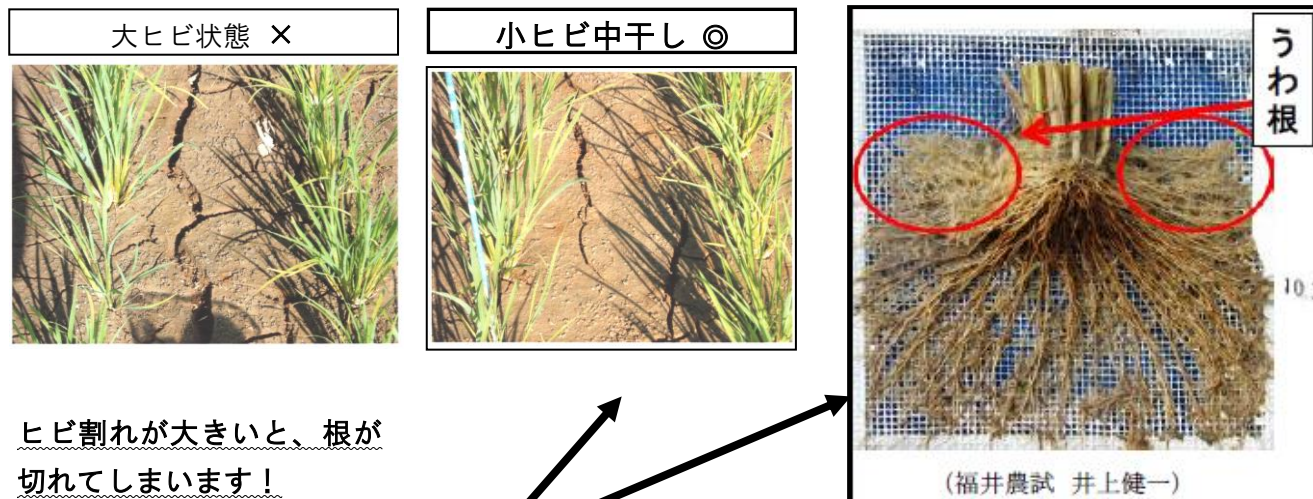
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏が助長されます。

中干しが不十分だと、総籾数が過剰傾向となり、乳心白等の未熟粒や玄米タンパク質含有率は高くなります。特に早生品種の大豆作付後圃場や基盤整備後圃場では生育過剰になりやすいため、早めに中干しを開始し、生育調節を行いましょう。



2. 中干し・溝切りの方法と点検

- (1) 中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度まで行います。



ヒビ割れが大きいと、根が切れてしまいます！

“うわ根”の形成と根の活力維持

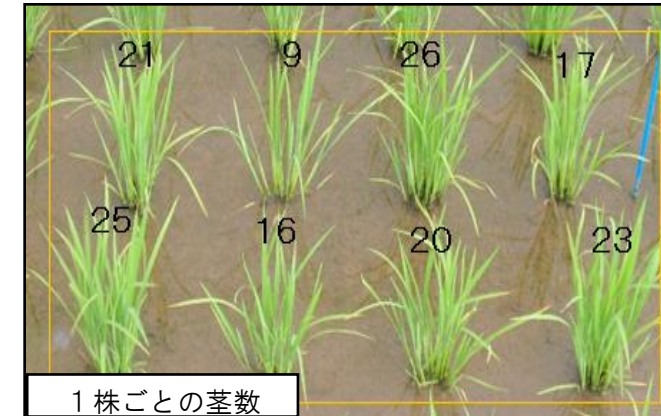
穂肥やケイ酸など肥料効果を十分に発揮させる為、“うわ根”を切断しない「小ヒビ中干し」を行いましょう。

- (2) 溝の間隔は2.5m、深さは10cm程度を確保し、溝の末端は必ず排水口につなげて下さい。
- (3) 毎年苦労するほ場の軟らかい所は、溝の間隔を狭くして溝数を増やすと効果的です。
- (4) 中干し溝の額縁点検（収穫時地耐力確保、高温時の短時間かん水、秋の長雨対策）
※ 天候不順な年ほど効果大！ 溝は、必ず排水口につなげましょう。

コシヒカリ中干し開始適期の状態



写真の状態では、すでに中干し開始時期を過ぎています（平均20本/株です）



1株ごとの茎数

◀過剰生育のブレーキは早めに!!▶

3. 中干し・溝切り時期のめやす

- (1) 田植え後30日をめやすに落水し中干しを開始しましょう。
田植時期が遅い場合、本格的な梅雨時期と重なるため、早めに中干しを開始しましょう。
- (2) 中干し程度は、田面に小ヒビが入る程度とし、大ヒビの入る強い中干しは避けましょう。
- (3) 中干し期間は2～3週間をめやすとしましょう。

※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏・品質低下が助長されます。

【エコ・5-5 コシヒカリ】注) ()内は本/株

地区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/m ²	中干し開始のめやす		中干し終了の晩限
			茎数	時期	
長岡地区 (50株/坪)	5月10～15日	340(22)	15本/株	6月10日	7月5日
	5月20日以降			6月15日	

【エコ・5-5 こしいぶき】注) ()内は本/株

地区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/m ²	中干し開始のめやす		中干し終了の晩限
			茎数	時期	
長岡地区 (60株/坪)	5月5～10日	350(19)	15本/株	6月10日	6月末

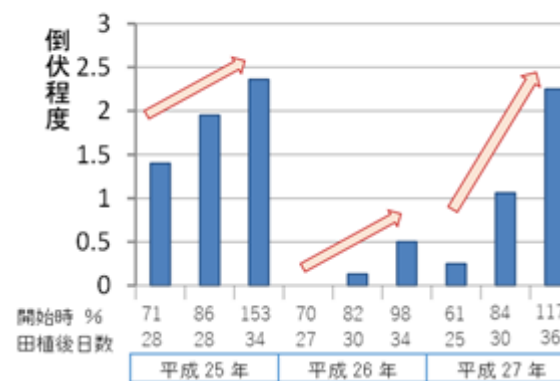
◎こしいぶきは生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目安に中干しを開始しましょう。

◎地力が高い、排水が悪い、例年倒伏が懸念されるほ場（重粘土壌等）の場合は、上記のめやすより2日程度早く中干しを開始し、早めの溝切りとやや強めの中干しにより籾数過剰の抑制と倒伏防止を図りましょう。

◎砂壤土等の水はけのよい低地力ほ場では、茎数が少ない段階で中干しに入ると穂数確保ができず少収となる場合があるので、目標穂数の8割を確保した段階で中干しに入りましょう。
【コシヒカリ:18本/株（50株植え）、こしいぶき:15～16本/株（60株植え）】

4. 中干しが遅れた場合の影響

中干し開始が遅くなるほど、成熟期の倒伏程度は大きくなります。



中干し開始時期が遅くなると倒伏が増加する

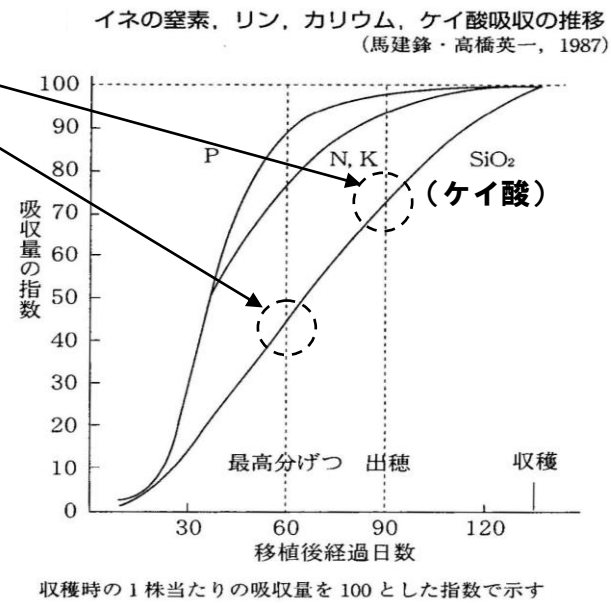
図 中干し開始時期と成熟期の倒伏（作物研究センター）

※有機50%肥料栽培、平成25～27年。開始時%は目標穂数（350本/m²）に対する中干し開始時の茎数の比率。田植後日数は中干し開始時

5. ケイ酸肥料の散布

- (1) 水稻は、ケイ酸を積極的に吸収する「好ケイ酸植物」です。
健全な稲体づくりに向けてケイ酸肥料を施用しましょう。

◎ケイ酸の吸収は生育前期よりも生育後期の方が多く、最高分けつ期頃で50%、出穂期以降も生育期間全体の30%近くが吸収されます。



- (2) ケイ酸肥料の効果

- ① 光合成を促進して、品質向上に役立ちます。
- ② 耐倒伏性の向上に役立ちます。
- ③ 籾が丈夫になることで、「ふ割れ」やカメムシ被害の軽減に役立ちます。
- ④ ごま葉枯れ病の抑制に役立ちます。
- ⑤ 高温下での品質低下を防ぎます。

- (3) 散布時期

6月末～7月上旬(幼穂形成期前)

※稲がケイ酸を吸収するには水が必要です。ケイ酸肥料を散布の際は、ほ場に水を入れましょう。

- (4) 主なケイ酸肥料【令和6年5月現在の税込価格】※表示価格は当用未収配達価格です。

けい酸加里プレミア 34

施用量：20～60 kg/10a
ケイ酸成分：34%
価格：3,290円
規格：20kg

加里、苦土、ほう素を含むケイ酸肥料

みつパワー

施用量：40～60 kg/10a
ケイ酸成分：25%
価格：1,510円
規格：20kg

鉄、マンガン等を含むケイ酸肥料

スーパーシリカプレミアム

施用量：20～40 kg/10a
ケイ酸成分：30%
価格：1,810円
規格：20kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

ウォーターシリカ

施用量：15～30 kg/10a
ケイ酸成分：17%
価格：4,900円
規格：15kg

水口施用が可能な省力型肥料

ニュー米スター

施用量：15～30 kg/10a
ケイ酸成分：32%
価格：1,580円
規格：15kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

マルチサポートFe

施用量：20～40 kg/10a
ケイ酸成分：12%
価格：1,830円
規格：20kg

ケイ酸と鉄を主体とした総合微量要素肥料

6. 雑草対策

- (1) 取り残したヒエ以外の雑草は、「バサグラン」で除草しましょう。
※エコ・5-5運動参加圃場では、全域・全品種でバサグランを使用できます。

除草剤名	使用量	使用時期
バサグラン	粒剤	3～4kg/10a (但し、収穫60日前迄)
	液剤	500～700ml/10a (但し、収穫50日前迄)

- (2) 取り残したヒエは、「クリンチャー」で除草しましょう。
※エコ・5-5運動参加圃場では、長岡地域全品種と栃尾・山古志地域コシヒカリのみクリンチャーを使用できます。
(1^{キロ}粒剤・EW(乳剤)・ジャンボ剤のいずれかの剤型1回のみ使用できます。)

除草剤名	使用量	使用方法
クリンチャー	1キロ粒剤	1.5kg/10a 移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前迄
	EW(乳剤)	100ml/10a 移植後20日～ノビエ6葉期 但し、収穫30日前迄
	ジャンボ	小包装(パック) 30個(1.5kg) 移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前迄

- (3) クリンチャーバスME液剤【長岡地区エコ・5-5運動取組圃場での注意】
「クリンチャーバスME液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグラン単剤での使用はできません。

草刈り4つの効果

- ① エサをなくす
- ② すみかをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかかりやすくする

- (4) 畦畔除草(斑点米カメムシ対策)
今年は気温が高いことから、雑草が繁茂しやすくカメムシが多く発生する可能性があります。イネ科雑草や水田内雑草(特にイヌホタルイ)の管理に注意しましょう。
除草剤を散布する場合は、畦畔散布に登録がある除草剤を使用し、農業ラベルに記載してある使用方法を守って散布して下さい!

【注意】農道・畦畔で除草剤を散布する際は、必ず風の無い時間帯に飛散防止ノズルを付けて散布し、飛散しないよう十分注意して下さい。

7. 病害防除

■長岡地区エコ・5-5運動取組圃場で使用できる「いもち病」・「紋枯病」防除農薬

薬剤名	適用病害	使用量	散布時期
フジワン モンカット粒剤	いもち病 紋枯病	3～4kg/10a	出穂30～10日前、但し、収穫30日前まで
フジワン粒剤 1キロ粒剤 パック 乳剤 水和剤	いもち病	3～5kg/10a	葉いもち：初発7日～10日前、穂いもち：出穂10～30日前、但し、収穫30日前まで (パックは収穫14日前まで)
		1～1.5kg/10a	
		10～15個/10a	
		1000倍 60～150ℓ/10a	収穫14日前まで
モンカット粒剤	紋枯病	3～4kg/10a	出穂30～10日前、但し、14日前まで

【使用方法】

- ・湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布し、3～4日は湛水状態を保つ。
- ・使用回数はいずれの薬剤も1回のみ。

※注意※

- ① フジワンモンカット粒剤を使用した場合は、フジワン剤及びモンカット粒剤は使用できません。
- ② わたぼうしは、フジワン剤のみ使用可能です。

お問い合わせ先 ながおか営農センター ☎0120-91-5882 ながおか西営農センター ☎0120-91-5883